

第4回 学校運営協議会 議事録

令和8年7月14日（火）

記録：副校長

参加者：三村委員長、星加副委員長、大久保委員、野島委員、青山委員、高澤委員
（事務局：宇野、伊藤、三木）

1. 委員長あいさつ

- ・最近、報道等で学校での火事が取り上げられることが多いが、子供たちにとっても先生方にとっても安全な場所になるよう学運協としても協力をしていく。

2. 校長あいさつ

- ・先日の日光移動教室ではハイキングのコース変更があったが、添乗員が先を見越して動いてくれたおかげで、安全に実施できた。猿が多く出ていた。
- ・今学期最後の校外活動では、暑さのため体調を崩す児童が出た。校外活動の実施時期の見直しが必要になっている。
- ・自動車と接触する事故があり、全校朝会及び各学級において再度指導した。

3. 学校の様子について(生活指導主幹、教務主幹)

- ・生活指導主幹からいじめアンケートの結果や不登校の状況について説明をした。いじめについては、現時点で認知件数は0件であるが、いつ起きてもおかしくないので、引き続き丁寧に児童の様子を見ていく。
- ・横断歩道の渡り方について逐一、指導してきたが繰り返し行っていく。交通ルールを守るということに合わせて、学校のルールを守るということも引き続き指導していかなければならない。
- ・教務主幹から、学力調査の結果について説明をした。国語・算数ともに上の学年になるほど差が開いている。白紙で出す児童も多く、粘り強く取り組んでいく姿勢を身に付けさせたい。
- ・算数では基本的な部分の未定着が見られる。毎日の学習の中で書く時間を取り入れ、整理整頓等の生活の仕方を整えることで学習に向かっていけるようにてこ入れしていく必要があると考える。

4. 俳句大賞の取組について

- ・今回応募数が少なかったが、子供たちが自主的に取り組んでいた。委員の意見を基に大賞作品を決定した。

5. 「わくわくワーク」について

- ・実施日時、場所、児童の持ち物等について確認した。
- ・当日お手伝いいただくスタッフ人数や学校から借りる物品について共有した。

6. 映画大会・花火大会について

- ・ 16:15～18:15 映画上映 18:30頃～ 花火点火 等、詳細について確認した。

7. 「ピーポくんの家」進捗状況について

- ・ 図書ボランティアや卒業対策委員会のような独立組織として、新たに組織を立ち上げた方が動きやすく、煩雑にならずに済む。今年度から来年度の、年度途中の開始でも活動できる。
- ・ 他の保護者の意見として需要があるかないか問うという方法もある。
- ・ 学運協委員と協力しながらやっていく

8. 情報交換

- ・ 花火大会も3回目となるので、さらに盛り上げていく方法を検討している。スタッフ募集はHome&Schoolからformsに移行していこうと考えている。
- ・ 校内別室指導支援員研修会に参加した委員から研修の内容について報告があった。
 - 不登校児童の出現率：小学校30人に1人、中学校11人に1人
 - 今の子供たちが抱えているものは多種多様、原因も解決策も多種多様
 - 不登校は問題行動ではない。様々な場所で学べるようにすること、いろいろな大人がいろいろな形で関わっていくことが肝要。
- ・ 勉強が分からないと学校もつまらなくなるし、不登校に繋がる可能性もあり、わくわくワークで少しでも学習することへの抵抗を払拭していきたい。
- ・ 3年生の音楽に関わらせていただいて良かった。子供たちが意欲をもって学習に臨めるよう教員が教材研究していた。また、自己肯定感を高めていく関わり方や声掛けをしていたので、子供たちが授業にのめり込んでおり、先生方の努力に感動した。
- ・ 一中・大和田小・高倉小との合同学運協ができると良い。会の中で何をしたら有意義な会になるのか、各校の委員と情報交換を進めていく。
- ・ 保幼小の架け橋協議会についての情報交換を行った。
- ・ 体育学習発表会を運動会(10/17)に名称を戻す。
- ・ 昨年度の展覧会(11/27、28、29)で、日曜日開催は保護者のニーズが高かった。今年度も土・日に学運協からお手伝いいただけるとありがたい。
- ・ 道徳授業地区公開講座で講師を招聘するにあたり、学運協予算から出すことについて、委員からの承認を得た。

次回 第5回学校運営協議会 9月15日(火) 16:45～